

# 自治会館等における新型コロナウイルス対策について (その3)

自治会館・町内会館は、地域の皆様で管理し、利用していただいている施設です。安全にご利用いただくために、皆様一人ひとりが感染防止対策を確実に実施しましょう。今回は、空気環境を見える化する、CO<sub>2</sub>濃度モニターについて、ご紹介します。

## 1 趣旨

新型コロナウイルス感染症のリスク要因の一つである「密閉（換気の悪い密閉空間）」に対しては、自治会館の会議室等に、CO<sub>2</sub>濃度モニターを設置し、利用者が日常的に空気環境を数値で確認できるようにすること（空気環境の見える化）が有効です。



これにより空気環境の見える化（二酸化炭素濃度の含有率を数値で表示）が図られ、窓開け換気を必要なタイミング、必要な回数だけ実施できるようになり、室温・湿度の低下（冬期）／上昇（夏期）を必要最小限に抑えることができます。

## 2 使い方

CO<sub>2</sub>モニターの数値を基準として、窓開け換気を実施します。



正面  
側面  
CO<sub>2</sub>モニターの一例

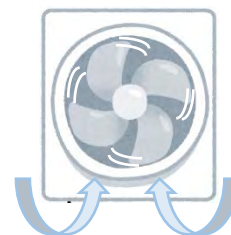
〔数値の考え方〕 CO<sub>2</sub>濃度1,000ppm\*以下を維持する

\* ppm : 100万分の1

〔取組の一例〕 ① 900ppm以上 ⇒ 窓を開ける。

② 700ppm以下 ⇒ 窓を閉める。

（注）換気扇がある場合は常時運転  
させましょう。



## 3 機種等の選定にあたって

NDIR（非分散型赤外線）センサー式のものが取り扱いやすいのでおすすめです。

価格は20,000円前後のものが多いようです。

（注） 一般に、CO<sub>2</sub>モニターは精密な測定には不向きで、おおよその濃度を連続的に把握する目的で使用する簡易測定器です。また、多くのものは校正ができないため、あらかじめ屋外の二酸化炭素濃度を測定し、測定値が外気の二酸化濃度（400～450ppm程度）に近いことを確認してから、室内測定を行いましょう。

裏面あり

## 4 その他

自治会町内会や地区連合町内会が実施する公益的活動に係る経費については、地域活動推進費の補助対象として申請することが可能です。ご不明の点がございましたら、地域振興課の担当までお問い合わせください。



区役所での設置風景

### 【参考】区役所でのCO<sub>2</sub>モニターの設置

CO<sub>2</sub>モニターを各課の窓口カウンターに設置し、窓開け換気の指標として活用しています。その他、会議室など庁内各所(34か所)にCO<sub>2</sub>モニターを設置し、西区庁舎全体で換気の見える化を図っています。



### 【問合せ先】

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| ・CO <sub>2</sub> モニター、換気対策について | 生活衛生課 (TEL:320-8444) |
| ・地域活動推進費について                   | 地域振興課 (TEL:320-8389) |